令和7年宮若市外二町じん芥処理施設組合規則第1号

宮若市外二町じん芥処理施設組合ハラスメント事案に関する 第三者委員会設置規則

(設置)

第1条 この規則は、宮若市外二町じん芥処理施設組合においてハラスメント事案（以下「事案」という。）が発生した際に、中立の立場から客観的かつ公平で専門的な知見を持つ第三者による調査及び報告並びに必要な措置に関する意見等を求めるため、宮若市外二町じん芥処理施設組合ハラスメント事案に関する第三者委員会（以下「委員会」という。）の設置に関する事項を定めるものである。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 事案の事実確認を行うための調査に関すること。
- (2) 事案に係るハラスメント行為の該当の有無及び再発防止に資する必要な措置等に係る意見に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、事案に係る措置等に関し、組合長が必要と認めるもの。

2 委員会は、必要な措置等の助言等を組合長に行う。

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから組合長が委嘱する。

- (1) 弁護士の資格を有する者
- (2) 事案に関連する識見を有する者
- (3) その他、組合長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委員会が設置された日から第2条に掲げる事項が終了するまでの間とする。

- 2 組合長は、委員が委嘱されたときの要件を欠くに至ったときは、その委員を解任することができる。
- 3 組合長は、委員が諸事情により欠員となった場合には、当該委員の残りの任期について補充委員を委嘱することができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。
- 3 委員長に事故があるとき又は欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、最初にかかれる会議にあつては、組合長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 会議は、原則として非公開とする。

(関係者の出席)

第7条 委員会は、事案の審議のため必要があると認められるときは、関係者に対し、会議への出席を求めて意見の聴取及び必要な書類の提出等を求めることができる。

(調査結果等の報告)

第8条 委員会は、事案に係る調査結果及び措置等に係る意見について、文書により組合長に報告しなければならない。

(守秘義務)

第9条 委員は、職務上知り得た情報や秘密を他に漏らしてはならない。

- 2 前項の規定は、その職を退いた後も同様とする。

(委員報償)

第10条 委員及び第7条により委員会に出席を求めた者に対し、報償及び旅費（以下「報償等」という。）として、宮若市の定める基準に基づき支給する。

- 2 調査報告書を作成した者に対し、報償等を支給することができるものとする。
- 3 前項に規定する報償等の額は、組合長が別に定める。

(庶務)

第11条 委員会の庶務は、宮若市外二町じん芥処理施設組合事務局において行う。

(その他)

第12条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営等に関して必要な事項は、組合長が別に定める。

附 則

この規則は、告示の日から施行する。